九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

# 現代モンゴル語のアスペクトと動詞の限界性

松岡，雄太
九州大学大学院人文科学府

https://doi.org/10.15017/9208

出版情報：九州大学言語学論集. 28, pp.39-68, 2007-07-31. 九州大学大学院人文科学研究院言語学研究室
バージョン：
権利関係：

# 現代モンゴル語のアスペクトと動詞の限界性*

松岡　雄太
（九州大学大学院）
namaga@lit.kyushu-u.ac.jp

キーワード：現代モンゴル語，アスペクト，副動詞 ＋bayi-，動詞の限界性

## 1.　序論

### 1.1.　研究目的

従来，現代モンゴル語の研究において，アスペクトとして記述されてきた形式には(1)の三種類がある(1).

(1)　a. 接辞
　　b. 副動詞 ＋bayi-
　　c. 形動詞 ＋bayi-

(1a)～(1c)の中にはそれぞれいくつかの形式が含まれる．しかし，これらの中のどれをアスペクト形式として記述するかは，研究者によって見解が異なる(2)．本稿は現代モンゴル語のアスペクト体系を明らかにすることを

---

* 本稿の一部は，科学研究費補助金，基盤研究A「チュルク諸語における固有と外来に関する総合的調査研究」（課題番号18251007，研究代表者：久保智之）の援助を受けている．

(1) 本稿で用いるモンゴル語の表記は，現在，中国内蒙古自治区で使用されている文語をPoppe (1954) に基づいてローマ字転写したものである．ただし，分離独立字を反映したハイフンと，「c，j」の上にある「ˇ」は便宜上省略する．また，モンゴル語は母音調和があるが，母音調和による語尾の交替形（例：-ju／-jü）は，用例の箇所を除き，男性語の語形で代表させて表記する．

(2) 主な先行研究の記述するアスペクト形式は以下の通りである．
(a) 「-ciqa-」：道布 (1983)
(b) 「接辞」：Sanzheyev (1973)

目的とし，(1b)の「副動詞 ＋bayi-」の意味記述を行なう．

### 1.2. 先行研究とその問題点

現代モンゴル語の副動詞の中で「bayi-」と迂言的な形を構成するのは「-ju」,「-γad」,「-γsaγar」の三種類である．本稿では以下，これらを「-ju bayi-」,「-γad bayi-」,「-γsaγar bayi-」と呼ぶ．これらの形式に対する主な先行研究の意味記述は(2)～(4)に示す通りである[(3)].

(2) 「-ju bayi-」の意味
  (a) durative or iterative：Street (1963)
      持続体：査干哈達 (1995)
  (b) imperfective action：Bosson (1964)
  (c) 現在進行 (present progressive) [-ju bayi-na の形で]：Hangin (1968), 小沢 (1986), フフバートル (1993)
      正在進行体：清格爾泰 (1991)
      progressive：Song (1995, 1997)
      進行アスペクト：塩谷・プレブジャブ (2001)
      進行体：宝玉柱 (2002)
      odo üiledcü bayiqu bayidal -un kelberi：白音朝克図 (2002)

---

(c) 「-ju bayi(-na)」：小沢 (1986), Song (1995, 1997)
(d) 「接辞」「-ju bayi(-na)」：孫竹 (1985), フフバートル (1993)
(e) 「接辞」「副動詞 ＋ bayi-」:Hangin (1968), 清格爾泰 (1991), 査干哈達 (1995), 白音朝克図 (2002)
(f) 「接辞」「副動詞 ＋ bayi-」「形動詞 ＋ bayi-」：塩谷・プレブジャブ (2001), 宝玉柱 (2002)

(3) モンゴル語は現在，主にモンゴル国と中国内蒙古自治区において話されているが，いくつかの方言に分かれる（栗林 1989, 1992, 清格爾泰 2001）．従来，中国の研究者は中国内蒙古自治区の標準語のチャハル方言，日本，欧米の研究者はモンゴル国の標準語のハルハ方言を対象に記述している．これに対して，本稿は中国内蒙古自治区の東部で話されているホルチン方言を対象にする．ホルチン方言を選んだのは，今後アスペクトの通時的研究に繋げていくためである．従来，ホルチン方言の研究には，孫竹 (1985), 査干哈達 (1995), 白音朝克図 (2002) などがある．また，本稿で例示する用例は，全て筆者が行った調査によるものである．今回協力していただいた言語コンサルタントは以下の方である．この場を借りて感謝の意を表します．

明根巴雅爾 (Mingγan Bayar) : 1939 年内蒙古自治区通寧市出生.
暁春 (Xiao Chun) ： 1973年内蒙古自治区科爾沁右翼中旗出生.

用語が異なっているだけで同じ概念を表しているという可能性は残るが，先行研究の記述する「-ju bayi-」の意味は，(a) 継続，(b) 未完了，(c) 進行の三種類に分けることができる．

(3) 「-γad bayi-」の意味

(a) it express an action which takes place continuously or repeatedly：Hangin (1968)
反復継続アスペクト[-γad la bayi- の形で]：塩谷・プレブジャブ (2001)

(b) it must be translated ‘has already …’：Bosson (1964)
完成体：宝玉柱 (2002)
jalγaγad üiledüged bayiqu bayidal -un kelberi：白音朝克図 (2002)

(c) perfective, durative or iterative：Street (1963)
重複進行体・已経進行体：清格爾泰 (1991)

(d) 持続体：査干哈達 (1995)

(2)と同様に用語上の問題はあるが，先行研究の記述する「-γad bayi-」の意味は，(a) 反復，(b) 完了，(c) 反復と完了，(d) 持続の四種類に分けることができる．

(4) 「-γsaγar bayi-」の意味

a strong durative：Street (1963)
it carries the meaning ‘keeps on, goes on, continues to’：Bosson (1964)
it expresses the meaning “continues to, keeps on” and “still”：Hangin (1968)
延続進行体：清格爾泰 (1991)
持続体：査干哈達 (1995)，宝玉柱 (2002)
udaγan üiledügseger bayiqu bayidal -un kelberi：白音朝克図 (2002)

(2), (3)と同様に用語上の問題はあるが，先行研究の記述する「-γsaγar bayi-」の意味は，ほぼ見解が一致しているように思われる．

以上，「-γsaγar bayi-」を除いて先行研究の記述する意味は必ずしも一致しない．原因としては以下の三点が考えられる．

一点目は，アスペクトの捉え方が研究者によって一致しないということ

である．従来の研究は，ロシア語や他のスラブ諸語に見られる完了体 (perfective) と不完了体 (imperfective) の対立に相当するもののみをアスペクトと呼ぶか，或いは文法的か語彙的かを区別せずにアスペクトという概念を広く捉えているように思われる．これに対して，本稿はアスペクトを「動詞があらわす動作，現象，事件，状況，状態，事態等々がいかに時間において経過するか，或いはいかに時間に配分されるかを示す文法範疇 (grammatical category)」と定義する[(4)]．つまり，文法範疇としてのアスペクト (aspect)，語彙範疇としてのアクツィオンスアールト (Aktionsart)，機能＝意味論的範疇としてのアスペクチュアリティー (aspectuality) を区別する．

二点目は，従来の研究が各形式の意味記述にとどまっているということである．本稿は文法範疇を形成するもののみをアスペクトと呼ぶわけだが，文法範疇の有無に対する判断基準は，以下の(5)の条件を全て満たしているかどうかによる[(5)]．

(5) a. 義務性（使用の強制）
b. 包括性（あらゆる動詞，或いは述語形式をまきこんでいること）
c. 規則性（一様な形式的指標の存在）
d. 抽象性・一般性（語彙的意味からの解放）
e. パラディグマティックな対立性（相補的対立関係）

従来の研究は(5e)を見過ごしている．文法形式の意味は，形式間のパラダイム関係 (paradigmatic relation) を考慮し，体系的に記述する必要がある．

三点目は従来の記述が各形式のアスペクト的意味の一部である可能性が

---

(4) アスペクトの基本概念については，菅野 (1992: 98-100) を参照．菅野 (1992) はЮ.С.МасловとА.А.Холодовичの論文の日本語訳であるが，該当論文はМаслов (1984) “Об основных понятиях аспектологии（アスペクト論の基本概念について）. В кн.: Очерки по аспектологии（アスペクト論概論）. Ленинград, с.5-47”

(5) (5)の表現は工藤 (1995: 29) のものを引用したが，同様の記述は菅野 (1990: 1-5) にも見られる．菅野 (1990) もЮ.С.МасловとА.А.Холодовичの論文の日本語訳であるが，該当論文はМаслов (1962) “Вопросы глагольного вида в современном зарубежном языкознании（現代の外国の言語学における動詞アスペクトの諸問題）. В кн.: Вопросы глагольного вида. Сборник（動詞アスペクトの諸問題．論文集）, Москва, с.3-32”

高いということである．従来の研究は専ら現代モンゴル語の入門書や概説書の性格をもっているためか，形式の意味を記述し，若干の用例を挙げるのみである．しかし，アスペクト的意味は，結合する動詞や共起する副詞などの影響を受けるため，シンタグマ関係 (syntagmatic relation) を考慮し記述する必要がある．

## 2. アスペクト的意味

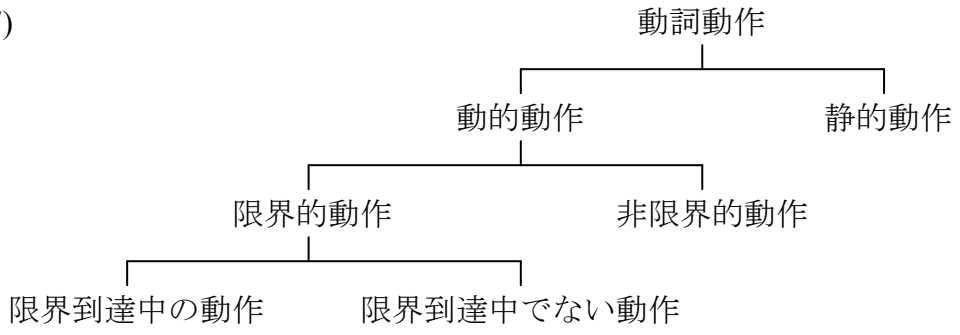
2 章では議論に先立って，まず，アスペクト的意味（アスペクチュアリティー）を定義する．Маслов (1978) によると，アスペクト的意味は動作の質的な性質（質的相性）と動作の量的な性質（量的相性）の二つの観点から下位分類することができる[(6)].

### 2.1. 質的相性

Маслов (1978) によると，質的相性は(6), (7)のような意味的対立を含んでいる．

(6) a. 動：静
b. 内的限界に向かった限界的動作：限界に向かわない非限界的動作
c. 自己の限界に到着しつつある限界的動作：限界に向かったが限界がまだ到達されていない時の局面において観察されている動作

(7)




(6) アスペクト的意味の分類については菅野 (1992: 35-45) を参照．該当論文は Маслов (1978) “К основаниям сопоставительной аспектологии（対照アスペクト論の原理によせて）. В кн.: Вопросы сопоставительной аспектологии（対照アスペクト論の諸問題）. Ленинград, с.4-44.

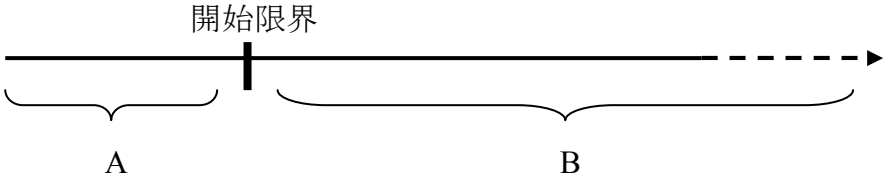
第一に，「動」と「静」の対立であるが，一般的に我々が動きを感じるのは，動作が開始する前の準備的段階にあるときか，動作が正に行なわれているとき，つまり，開始限界と終了限界の間にあるときである．従って，本稿では開始限界と終了限界があるものを動的動作，終了限界がないものを静的動作と定義する．開始限界と終了限界の有無に着目すると，動作は(8)のように分類することができるが，(8)のⅠが動的動作，ⅢとⅣが静的動作に相当する．Ⅱの組み合わせは存在しない．

(8)　動作の分類

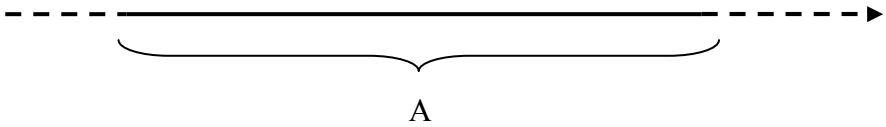
| | 開始限界 | 終了限界 |
|---|---|---|
| Ⅰ | ＋ | ＋ |
| Ⅱ | － | ＋ |
| Ⅲ | ＋ | － |
| Ⅳ | － | － |

Ⅲ，Ⅳの静的動作はそれぞれ(9)，(10)のように図式化されるが，本稿では動作が(9)の B, (10)の A の局面にあることを「状態性」と呼ぶ．

(9)

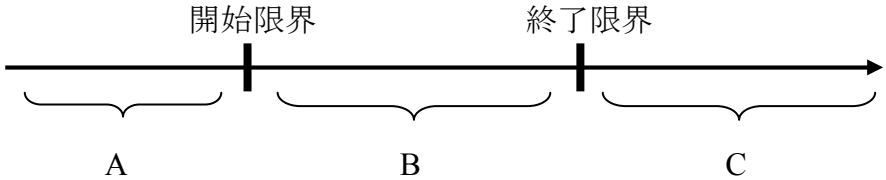



(10)

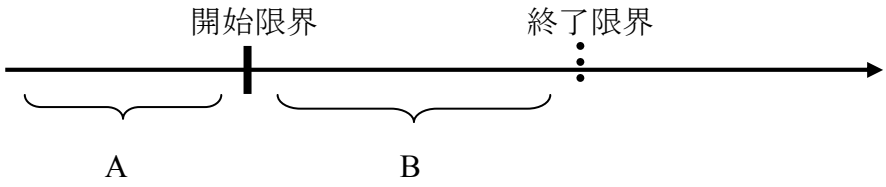



第二に，Ⅰの動的動作は限界的動作と非限界的動作に下位区分することができる．本稿では必然的な終了限界が内在したものを限界的動作，必然的な終了限界が内在していないものを非限界的動作と定義する．限界的動作は(11), 非限界的動作は(12)のように図式化される．

(11)



(12)




本稿では，動作が(11), (12)の B の局面にあることを「進行性」，(11)の C の局面にあることを「結果性」と呼ぶ.

## 2.2. 量的相性

Маслов (1978) によると，量的相性は(13)のような意味的対立を含んでいる.

(13) a. 回数，或いは実現の連続性／不連続性
b. 長さの程度
c. 強さの程度

(13a)の回数はさらに(14)のような意味的対立を含んでいる.

(14) a. 一回的動作／状態
b. 多回的（反復的）動作／状態

(14b)の複数回の動作はさらに定性／不定性，反復の規則性／不規則性によって下位区分される.

(15)
- 定性（多回性）
- 不定性
  - 規則性（反復性）
  - 不規則性（習慣性）

本稿では，複数回の動作の中で，定性をもったものを「多回性」，不定性と規則性をもったものを「反復性」，不定性と不規則性をもったものを「習慣性」と呼ぶ．また，習慣性から時間的な対立を取り除くと，常に存在する状態と関係が取り立てられるが，本稿はこのようなアスペクト的意味を「恒常性」と呼ぶ.

定性／不定性の対立は，具体性／抽象性の対立に置き換えて考えることもできる[7]．ある特定の時点や期間にくぎづけられた定的な動作は具体的に観察可能であるが，不定的な動作は直接的な観察に加えて頭の中での解釈が介入してくるため，反復性，習慣性，恒常性になるにつれて，次第に抽象的になっていく．

(16)　一回性　多回性　反復性　習慣性　恒常性

具体的　　抽象的

以上のアスペクト的意味は，文法的に表されるか語彙的に表されるかが言語によって異なる．以上の定義を前提とした上で，本稿は，便宜上，単一主体の一回的動作／状態を中心に議論を進めることにする．

## 3.　「副動詞 + bayi-」のアスペクト的意味と動詞の限界性

3 章では「-γad bayi-」，「-ju bayi-」，「-γsaγar bayi-」の順にアスペクト的意味を記述し，これらのアスペクト的意味の実現に結合する動詞の限界性が関与していることを主張する．

### 3.1.　「-γad bayi-」のアスペクト的意味

「-γad bayi-」に対する先行研究の記述は(3)に示した通りであるが，「反復」或いは「完了」と記述するものが殆どである．本稿ではこれらのアスペクト的意味が結合する動詞の語彙的意味によって決定することを主張する．

#### 3.1.1.　結果性

(17)　minu　abu　ükü-ged bayi-na.
　　私(GEN)　父　死ぬ-ASP-TEN
　　私の父は死んでいる

---

[7] 時間的な具体性－抽象性に関しては，須田 (2003: 121-144) を参照．

(18) egüde negege-gde-ged bayi-na.
ドア 開ける-PAS-ASP-TEN
ドアが開いている

(19) bilig nom-un sang-du oci-γad bayi-na.
ビリク 図書館-DAT 行く-ASP-TEN
ビリクは図書館に行っている

(20) ariγuna qurimla-γad bayi-na.
アルナ 結婚する-ASP-TEN
アルナは結婚している

(21) tere miqa ömükeyire-ged bayi-na.
その 肉 腐る-ASP-TEN
その肉は腐っている

(17)は父が既に死んでいること, (18)はドアが完全に開いていること, (19)はビリクが今図書館にいること，(20)はアルナが既に既婚であること，(21)は肉が既に腐っていることを表している．「完了，完成，perfective」といった先行研究の記述は，このようなアスペクト的意味に言及したものであると考えられる．しかし，筆者は「-γad bayi-」の文法的意味を「完了，完成，perfective」と記述するのは適切でないと考える．第一に，perfective の概念は，一般的に，動作の内部構造に言及せず，動作をひとまとまりのものとして捉えるということを表すために用いられるためである．第二に，完了や完成といった用語は，動作が終了限界に達したことを表しているように思われるが，現代モンゴル語において動作の終了限界達成性を表すのは，本稿で扱っていない「形動詞 + bayi-」の中に含まれる「-γsan bayi-」ではないかと考えるためである．

(22) namjil keüked-iyen teberi-{-gsen bayi-/-ged bayi-}-na.
ナムジル 子供-ACC(REF) 抱く-ASP-TEN
ナムジルは自分の子を抱いている

(23) bilig tere sandali-du saγu-{-γsan bayi-/-γad bayi-}-na.
ビリク その 椅子-DAT 座る-ASP-TEN
ビリクはその椅子に座っている

(22), (23)の「-γsan bayi-」と「-γad bayi-」の違いは，前者が動作の終了限界達成に焦点を置いているのに対して，後者は終了限界後の結果状態に焦

点を置いているという点にある．(22)を例にとると，「-γad bayi-」は今子供を抱いているということを表しているのに対して，「-γsan bayi-」は子供を抱いたということ，つまり，動作が完了したことを表しているだけで，今抱いているかどうかについては明言していない．このような理由から，本稿では(17)～(21)の「-γad bayi-」のアスペクト的意味を結果性と解釈する[8].

ここで注目されるのは，(17)～(21)の「-γad bayi-」が結果性を表している例の結合する動詞が全て限界的動作になっている点である．つまり，「-γad bayi-」が結果性を表すのは，結合する動詞に必然的な終了限界が内在している場合であるといえる．本稿では「-γad bayi-」が結果性を表す動詞を「限界動詞 (telic verb)」と呼ぶ[9].

「-γad bayi-」が結果性を表す動詞を「限界動詞」と呼ぶならば,「-γad bayi-」が結果性を表すことのできない動詞は，逆に「非限界動詞 (atelic verb)」と呼ぶことができる．次に，問題となるのが，非限界動詞と結合した「-γad bayi-」はどのような意味で実現するのかということである．

(24) batu cimayi jodo-γad bayi-na.
バト 貴方(ACC) 叩く-ASP-TEN
バトはいつもあなたを叩いている

(25) ariγuna γool -du umba-γad bayi-na.
アルナ 川-DAT 泳ぐ-ASP-TEN
アルナはいつも川で泳いでいる

(26) batu güyü-ged bayi-na.
バト 走る-ASP-TEN
バトは何度も走っている

(27) batu nom-i ungsi-γad bayi-na.
バト 本-ACC 読む-ASP-TEN
バトは何度も本を読んでいる

---

(8) Dugarova and Jaxontova (1988: 217-220) は「-γsan bayi-」と「-γad bayi-」をパーフェクト (perfect) の観点から記述するが，詳細は今後の課題と述べている．また，宝玉柱 (2002) は「-γsan bayi-」と「-γad bayi-」をともに「完成体」と記述し，両者の区別をしていない．「-γsan bayi-」をパーフェクト形式であると考えるのは問題ないと思われるが，筆者は「-γad bayi-」をパーフェクト形式と見なすことに疑問を感じている．「-γsan bayi-」と「-γad bayi-」の違いに関する詳細は別稿に譲る．

(9) 「telic－atelic」という用語に関しては, Garey (1957), Dahl (1981) などを参照.

(28) bi tegün-i mede-ged bayi-na.
私(NOM) それ-Acc 知る-ASP-TEN
私はそのことを何でも知っている

(29) batu ger -tegen bayi-γad bayi-na.
バト 家-DAT(REF) いる-ASP-TEN
バトはいつも家にいる

(24)～(29)は非限界動詞の例である．(24)～(29)の「-γad bayi-」は「いつも，何度も」動作を行なっていることを表している．「反復，重複，iterative」といった先行研究の記述は，このようなアスペクト的意味に言及したものであると考えられる．

なお，限界的動作の反復性を表すためには，「-γad la bayi-」のように，「-γad」と「bayi-」の間に「la」という要素を挿入する必要がある[10]．

(30) bilig masin terge-dü saγu-γad la bayi-na.
ビリク 車-DAT 乗る-ASP-TEN
ビリクはいつも車に乗っている

(31) bilig nom-un sang-du oci-γad la bayi-na.
ビリク 図書館-DAT 行く-ASP-TEN
ビリクはいつも図書館に行っている

(30)はビリクがいつも車に乗っているということを，(31)はビリクがいつも図書館に行っているということを表している．

---

(10) 「la」は「直前の語を強める役割を果す助辞」（小沢 1986: 208），「強調語気詞」（清格爾泰 1991: 462）などと記述されている．なお，塩谷・プレブジャブ (2001) は「-γad la bayi-」の形を「反復継続アスペクト」と記述するが，「la」を挿入すると，限界動詞，非限界動詞に関わらず全ての動詞において反復性を表すため，この記述自体は間違っていない．

ここで問題となるのが，非限界動詞と結合する場合の「-γad bayi-」と「-γad la bayi-」の違いである．筆者のコンサルタントによると「-γad la bayi-」は表される反復的動作に対してマイナスのイメージを持っている場合に用いるという．この「マイナスのイメージ」に対する具体的な調査は今後の課題である．

### 3.1.2. まとめ

以上,「-γad bayi-」が結果性を表すか反復性を表すかは，結合する動詞の語彙的意味（限界性）に依存しているといえる. 従来の研究が記述する「-γad bayi-」の意味が一致していなかったのは，従来の研究が一部の動詞を対象に記述していたためと考えられる．本稿の主張は以下の用例が支持している.

(32a) batu güyü-ged bayi-na.
バト 走る-ASP-TEN
バトは何度も走っている

(32b) batu surγaγuli-du kür-tele güyü-ged bayi-na.
バト 学校-DAT 到る-TER 走る-ASP-TEN
バトは学校まで走っている

(33a) batu nom-i ungsi-γad bayi-na.
バト 本-ACC 読む-ASP-TEN
バトは何度も本を読んでいる

(33b) batu tere nom-i ekin-ece γurban qaγudasu
バト その 本-ACC 最初-ABL 三 頁
ungsi-γad bayi-na.
読む-ASP-TEN
バトはその本を最初から三ページ読んでいる

(32a), (33a)は非限界動作の例であるが，非限界的動作には，動詞以外の文成分によって任意の終了限界を定めることができる[(11)]．このようにして任意の終了限界を設定した(32b)は走り終わって今学校に着いていることを，(33b)は三ページ目まで読み終わっていることを表している．つまり，(32b), (33b)の「-γad bayi-」は結果性を表していると考えられる.

反復性は量的相性に含まれるため，質的相性の結果性と同じレベルで記述するのは問題がある．現代モンゴル語の反復性についての詳細な議論は今後の課題とするが, ひとまず一回的動作に限定して考えると,「-γad bayi-」は結果性を表すと結論づけることができる.

---

(11) Vendler (1967) を参照．金水 (2000: 31-32) はこのような文成分のことを「外的限界設定」と呼んでいる.

### 3.2. 「-ju bayi-」のアスペクト的意味

従来，多くの先行研究が「-ju bayi-」の意味を記述している．先行研究の記述内容は，(2)に示した通りであるが，特に Song (1995, 1997) に詳細な記述がある．Song (1995, 1997) の記述する「-ju bayi-」のアスペクト的意味の中から一回的動作／状態に関するものを取り出すと以下の三点になる．

#### 3.2.1. 進行性

(34a) yeke salki salkila-na.
強い 風 吹く-(ASP)-TEN
強い風が吹く

(34b) yeke salki salkila-ju bayi-na.
強い 風 吹く-ASP-TEN
強い風が吹いている

(35a) batu nom-i ungsi-na.
バト 本-ACC 読む-(ASP)-TEN
バトは本を読む

(35b) batu nom-i ungsi-ju bayi-na.
バト 本-ACC 読む-ASP-TEN
バトは本を読んでいる

(34a)は単に強い風が吹くという事柄自体を述べているのに対して，(34b)は今風が吹いている最中であるということを，(35a)は単にバトが本を読むという動作自体を述べているのに対して，(35b)は今バトが本を読んでいる最中であるということを表している．つまり，(34b), (35b)の「-ju bayi-」は，進行性を表しているといえる．先行研究の多くが「-ju bayi-」の意味を「進行 (progressive)」，或いは「未完了 (imperfective)」と記述しているのは，このようなアスペクト的意味に言及したものと考えられる．しかし，「-ju bayi-」は以下で述べるように進行性以外のアスペクト的意味も表すことができるため，筆者は「-ju bayi-」の文法的意味を進行，或いは未完了と記述するのは適切でないと考える．

### 3.2.2. 結果性

(36) namjil qubcasu-ban emüs-cü bayi-na.
ナムジル 服-ACC(REF) 着る-ASP-TEN
ナムジルは服を着ている

(37) egüde negege-gde-jü bayi-na.
ドア 開ける-PAS-ASP-TEN
ドアが開いている

(36), (37)は曖昧性をもった文である．(36)は今服を着つつある局面（進行性）と，既に服を着た状態にある局面（結果性）の二つの解釈，(37)はドアが開きつつある局面（進行性）と，既にドアが開いた状態にある局面（結果性）の二つの解釈になる．このように「-ju bayi-」は進行性に加えて，結果性を表すことができる．なお，(36), (37)に見られる曖昧性は，多くの場合，前後の文脈によって解消される．(36a)は結果の解釈，(36b)は進行の解釈にしかならない．

(36a) namjil mongγol debel-iyen emüs-cü bayi-na.
ナムジル モンゴル 服-ACC(REF) 着る-ASP-TEN
ナムジルはモンゴル服を着ている

(36b) namjil toli-yin emüne qubcasu-ban emüs-cü bayi-na.
ナムジル 鏡-GEN 前 服-ACC(REF) 着る-ASP-TEN
ナムジルは鏡の前で服を着ている

Song (1995, 1997) は「-ju bayi-」に進行と結果の二つの解釈があることを指摘し，結果の解釈になるのは，結合する動詞が限界動詞 (telic verb) の場合であると述べている．だが，Song (1995, 1997) はモンゴル語において動詞の限界性を判断する基準を示していないという点に問題がある．Song (1995, 1997) の説明では，以下の(38), (39)の「-ju bayi-」は，進行性を表しているのか，結果性を表しているのか，状態性を表しているのか判断に困る．

(38) namjil keüked-iyen teberi-jü bayi-na.
ナムジル 子供-ACC(REF) 抱く-ASP-TEN
ナムジルは自分の子を抱いている

(39) bilig tere sandali-du saγu-ju bayi-na.
ビリク その 椅子-DAT 座る-ASP-TEN
ビリクはその椅子に座っている

本稿は前節で「-γad bayi-」が結果性を表すかどうかによって，動詞の限界性の判断ができることを提案したところである.「teberi-（抱く）」,「saγu-（座る）」という動詞は,「-γad bayi-」をとると結果性を表すので，限界動詞と判断することができる．従って，(38), (39)の「-ju bayi-」は，結果性を表していると考えることができる[12].

だが，問題は限界動詞であっても結果性を表すことができない例が存在するということである.

(40) bilig nom-un sang-du oci-ju bayi-na.
ビリク 図書館-DAT 行く-ASP-TEN
ビリクは図書館に行っている
(41) erdeni sine ger-iyen bari-ju bayi-na.
エルデニ 新しい 家-ACC(REF) 建てる-ASP-TEN
エルデニは新しい家を建てている

(40), (41)は限界動詞と結合した例であるが, (40)は今図書館に行っている最中，(41)は今家を建てている最中であることを表している．つまり，(40), (41)の「-ju bayi-」は，進行性を表しているといえる．このことは以下の(40’)の例からも明らかである.

(40’) * bilig nigente nom-un sang−du oci-ju bayi-na.
ビリク 既に 図書館-DAT 行く-ASP-TEN
ビリクは既に図書館に行っている

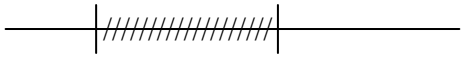
(40’)は副詞「nigente（既に）」と結合した例であるが非文である.

---

(12) Song (1997) は(39)が進行と結果の二つの解釈になると指摘している．しかし，筆者のコンサルタントは(39)は結果の解釈のみで進行の解釈にならず，進行の解釈にするためには「-qu gejü bayi-na（～しようとしている）」という迂言的な表現にしなければならないと述べている．Song (1997) はハルハ方言を対象としているため，このような解釈の違いは方言差かもしれない.

このように限界動詞と結合する「-ju bayi-」に進行性を表す場合と結果性を表す場合とがあることに対して，Song (1995, 1997) はこの違いを動詞の語彙的意味によるものとし，限界動詞には終了限界後の結果状態を含意するものとしないものがあると主張する．Song (1995, 1997) は終了限界後の結果状態を含意しない限界動詞を「Telic A」，含意する限界動詞を「Telic B」と呼び，「-ju bayi-」が結果性を表すのは，Telic B の動詞と結合するときであると主張する．

(42) Telic A



開始限界　　終了限界

Telic B

開始限界　　終了限界

Song (1995, 1997) の説明に従えば，(40)の「oci-（行く）」，(41)の「bari-（建てる）」は，Telic A ということになる．(40), (41)の例を見る限り，Song (1995, 1997) の説明は正しいように見える．だが，この説明は直観に反する部分がある．

(43)　* minu　　abu　ükü-jü bayi-na.
　　私(GEN)　父　死ぬ-ASP-TEN
　　私の父は死んでいる

(44)　* qoyar　baraγan terge　mörgüldü-jü bayi-na.
　　二　　トラック　　ぶつかる-ASP-TEN
　　二台のトラックがぶつかっている

(45)　ariγuna　qurimla-ju bayi-na.
　　アルナ　結婚する-ASP-TEN
　　アルナは結婚している

(43), (44)は非文である．死んだ状態，ぶつかった後の状態（処理されていない交通事故の現場など）といった結果性を表すことはできない．(43), (44)が非文になるのは，語用論的に，死につつある状況，ぶつかりつつある状況といった進行性を表すことが少ないためと考えられる[13]．(45)は結

[13] なお，(43), (44)は，それぞれ以下のように多回的な動作にすれば，反復性という形で進行の解釈を許容する．以下の(a)は多くの兵士が次々と死んでいるとい

婚した後の状態（既婚である）という意味ではなく，今結婚式を挙げている最中という進行性を表している．従って，Song (1995, 1997) の主張が正しいとすれば，(43)～(45)の動詞は Telic A ということになる．しかし，(43)～(45)の動詞が結果状態を含意しないといわれると，直観に反するものがある．(43)の「ükü-（死ぬ）」を例にとると，「死んだ後，死んだ状態にならない」ということは考えにくい．

このように，結果状態を含意するかどうかという Song (1995, 1997) の分類基準には問題があるように思われる．ただし，現代モンゴル語の限界動詞に二種類があることは間違いない．現段階において，筆者はこれに対する代案を提示するに至っていないが，本稿では用語のみ Song (1995, 1997) に従って，「-ju bayi-」が結果性を表すことのできない限界動詞を「Telic A」，結果性を表すことのできる限界動詞を「Telic B」と呼んでおく[14]．

### 3.2.3. 状態性

(46) bi　　tegün-i　　mede-jü bayi-na.
私(NOM)　それ-ACC　知る-ASP-TEN
私はそのことを知っている

---

うこと，(b)は二匹の牛が何度もぶつかっているということを表している．

(a) olan　cerig　ükü-jü bayi-na.
多い　兵士　死ぬ-ASP-TEN
多くの兵が死んでいる

(b) qoyar　üker　mörgüldü-jü bayi-na.
二　牛　ぶつかる-ASP-TEN
二匹の牛がぶつかっている

[14] Song (1997) はモンゴル語のTelic Bの特徴として再帰性 (reflexive) を挙げている．だが，(43)～(45)のように限界動詞の自動詞の中に結果性を表せないものが確認されているため，再帰性のみでは全ての例を説明できない．結果性は，動作が完了した後，主体或いは客体に生じた変化であると考えることができるが，このような変化の観点から見ると，モンゴル語の「-ju bayi-」が表すことのできる結果性は，主体の変化によって生じたもの（主体変化動詞）の「一部」といえる．今後，さらなる調査が必要であろう．

(47) batu cimayi qayirla-ju bayi-na.
バト 貴方(ACC) 愛する-ASP-TEN
バトはあなたを愛している

(48) radio abdara degere bayi-ju bayi-na.
ラジオ たんす 上 ある-ASP-TEN
ラジオはたんすの上にある

(49) bi oyutan bayi-ju bayi-na.
私(NOM) 学生 ある-ASP-TEN
私は学生である

(50) tere bayising sayiqan bayi-ju bayi-na.
その 建物 美しい ある-ASP-TEN
その建物は美しくある

(46)～(50)の「-ju bayi-」は状態性を表している．(46)～(50)の「-ju bayi-」は形式的にゼロの形と同じ意味である．(46)を例にとると，「mede-ne」と「mede-jü bayi-na」は同じ意味になる．このように形式的にゼロの形と「-ju bayi-」のアスペクト的意味が中和する動詞を「状態動詞 (stative verb)」と呼ぶことができる．なお，(48)～(50)の例は日本語の「テイル」の場合非文になるが，この点に関してモンゴル語の「-ju bayi-」は日本語の「テイル」と異なっている．ただし，「-ju bayi-」も以下の(51a)のようなコピュラ動詞と結合した場合は非文になる．(51a)は(51b)のようにいう必要がある．

(51a) * bi baγatur bayi-ju bayi-na.
私(NOM) バートル ある-ASP-TEN
私はバートルである

(51b) bi baγatur (bayi-na).
私(NOM) バートル (be-TEN)
私はバートルである

上記の(49)もコピュラ動詞と結合した例であるが，(49)と(51)の文法性の違いは，一時的な状態か恒常的な状態かにあると考えられる[15].

---

[15] 一名の査読者からの指摘によると，(49)の例はハルハ方言では目の前で見ている場合にしか用いられないという．筆者のコンサルタントによると，「bi oyutan bayi-na（私は学生である）」は自分が学生であることを普通に紹介しているのに対して，(49)は自分が学生であることを強調しているといった違いがあるという．だが，ホルチン方言においても「眼前性」が関わっている可能性はある．今後の

### 3.2.4. まとめ

以上，「-ju bayi-」は「進行性」，「結果性」，「状態性」といったアスペクト的意味を表すことを見た．多くの先行研究は「-ju bayi-」の意味を「進行 (progressive)」，「未完了 (imperfective)」と記述していたが，進行や未完了は「-ju bayi-」のアスペクト的意味の一部であるといえる．「-ju bayi-」が進行性に加えて結果性と状態性を表すことができるということは，「-ju bayi-」が動作の特定の局面を表しているのではなく，局面に関わりなく動作を継続的に捉えていることを示唆している．従って，「-ju bayi-」の文法的意味は，Street (1963) が記述するように，「継続相 (durative)」と考えるのが妥当であろう[16].

ここで想起されるのは，「-γad bayi-」が限界的動作を表す動詞と結合した場合，結果性を表していたということである．

(52) namjil keüked-iyen teberi-{-jü bayi-/-ged bayi-}-na.
ナムジル 子供-ACC(REF) 抱く-ASP-TEN
ナムジルは自分の子を抱いている

(53) bilig tere sandali-du saγu-{-ju bayi-/-γad bayi-}-na.
ビリク その 椅子-DAT 座る-ASP-TEN
ビリクはその椅子に座っている

(52), (53)の「-ju bayi-」と「-γad bayi-」の間にアスペクト的意味の違いはない．だが，このように「-ju bayi-」と「-γad bayi-」のアスペクト的意味が中和するのは，Song (1995, 1997) がいうところの Telic B の場合のみであり，Telic A の場合は「-ju bayi-」が進行性，「-γad bayi-」が結果性を表し，両者のアスペクト的意味は区別されるのである．

---

課題としたい．

[16] Song (1997) は進行性，結果性，状態性といったアスペクト的意味を記述しながらも「-ju bayi-」の文法的意味を「Progressive」と結論づけている．Song (1997: 379-380) は「-ju bayi-」の文法的意味を継続相（Song (1997) は「continuous」と呼んでいる）と記述しない理由について，「continuous」は汎言語的 (cross-linguistic) な範疇でないためと述べている．

### 3.3. 「-γsaγar bayi-」のアスペクト的意味

「-γsaγar bayi-」のアスペクト的意味は，質的相性という点では「-ju bayi-」と平行的な振る舞いを見せる．

#### 3.3.1. 進行性

(54) yeke salki salkila-{-ju bayi-/-γsaγar bayi-}-na.
強い 風 吹く-ASP-TEN
強い風がずっと吹いている

(55) batu nom-i ungsi-{-ju bayi-/-γsaγar bayi-}-na.
バト 本-ACC 読む-ASP-TEN
バトが本をずっと読んでいる

(54), (55)の「-γsaγar bayi-」は進行性を表している．「-ju bayi-」と「-γsaγar bayi-」の違いは，動作に対する時間の長さにある．(54)を例にとると，「-ju bayi-」は今風が吹いていることを表しているのに対して，「-γsaγar bayi-」はずっと風が吹き続けていることを表している．(4)に示した先行研究の「-γsaγar bayi-」に対する記述は，このようなアスペクト的意味に言及したものであると考えられる．

#### 3.3.2. 結果性

(56) namjil keüked-iyen teberi-{-jü bayi-/-gseger bayi-}-na.
ナムジル 子供-ACC(REF) 抱く-ASP-TEN
ナムジルは自分の子をずっと抱いている

(57) bilig tere sandali-du saγu-{-ju bayi-/-γsaγar bayi-}-na.
ビリク その 椅子-DAT 座る-ASP-TEN
ビリクはその椅子にずっと座っている

(56), (57)の「-γsaγar bayi-」は結果性を表している．「-ju bayi-」と「-γsaγar bayi-」の違いは，(54), (55)と同様，動作に対する時間の長さにある．(56)を例にとると，「-ju bayi-」は今子供を抱いていることを表しているのに対して，「-γsaγar bayi-」はずっと子供を抱き続けていることを表している．

また，「-γsaγar bayi-」は「-ju bayi-」と同様，進行性と結果性の二つの解釈を同時に許容する場合がある．

(58) namjil qubcasu-ban emüsü-gseger bayi-na.
ナムジル 服-ACC(REF) 着る-ASP-TEN
ナムジルはずっと服を着ている

(59) egüde negege-gde-gseger bayi-na.
ドア 開ける-PAS-ASP-TEN
ドアがずっと開いている

(58), (59)の「-γsaγar bayi-」は進行性と結果性の二つの解釈が曖昧になっている．だが「-γsaγar bayi-」が結果性を表すのは，Song (1995, 1997) が Telic B と呼ぶ一部の限界動詞と結合するときのみである．(60), (61)は Telic A の例であるが，進行性を表している[17].

(60) bilig nom-un sang-du oci-γsaγar bayi-na.
ビリク 図書館-DAT 行く-ASP-TEN
ビリクはずっと図書館に行っている

(61) erdeni sine ger-iyen bari-γsaγar bayi-na.
エルデニ 新しい 家-ACC(REF) 建てる-ASP-TEN
エルデニはずっと新しい家を建てている

(62) *minu abu ükü-gseger bayi-na.
私(GEN) 父 死ぬ-ASP-TEN
私の父はずっと死んでいる

(63) * qoyar baraγan terge mörgüldü-gseger bayi-na.
二 トラック ぶつかる-ASP-TEN
二台のトラックがずっとぶつかっている

(64) * ariγuna qurimla-γsaγar bayi-na.
アルナ 結婚する-ASP-TEN
アルナはずっと結婚している

---

[17] ただし，「-γsaγar bayi-」が限界動詞と結合した場合，「-ju bayi-」に比べて，一回的動作よりは反復的動作の解釈が優先する．(59)を例にとると，一つのドアが長い時間かけて開いているという解釈よりも，複数のドアが次々と開いていくのに長い時間がかかっているという解釈になる．

(62), (63)が非文になるのは，「-ju bayi-」のときと同様，語用論的に進行性を表すことが少ないためと考えられる[18]．(64)の「qurimla-（結婚する）」は，「-ju bayi-」の場合，結婚式を挙げている最中という過程進行の局面を想定することができたが，結婚式が長い間行われるということは考えにくいため，「-γsaγar bayi-」は非文になる．

### 3.3.3. 状態性

(65) batu cimayi qayirla-γsaγar bayi-na.
バト 貴方(ACC) 愛する-ASP-TEN
バトはずっとあなたを愛している

(66) radio abdara degere bayi-γsaγar bayi-na.
ラジオ たんす 上 ある-ASP-TEN
ラジオはずっとたんすの上にある

(67) bi oyutan bayi-γsaγar bayi-na.
私(NOM) 学生 ある-ASP-TEN
私はずっと学生である

(68) tere bayising sayiqan bayi-γsaγar bayi-na.
その 建物 美しい ある-ASP-TEN
その建物はずっと美しい

(65)～(68)は状態動詞と結合した例であるが，「-γsaγar bayi-」は状態の長期的な持続を表している．

---

[18] (62), (63)は，「-ju bayi-」の場合，主語を複数にし多回的な動作にすることによって，反復性という形で進行の解釈を許容したが，「-γsaγar bayi-」はこの点においても「-ju bayi-」と同じ振る舞いを見せる．以下の(a)は多くの兵士が長い間かけて次々と死んでいること，(b)は二匹の牛が長い間ぶつかり続けていることを表している．

(a) olan cerig ükü-gseger bayi-na.
多い 兵士 死ぬ-ASP-TEN
多くの兵がずっと死んでいる

(b) qoyar üker mörgüldü-gseger bayi-na.
二 牛 ぶつかる-ASP-TEN
二匹の牛がずっとぶつかっている

### 3.3.4. まとめ

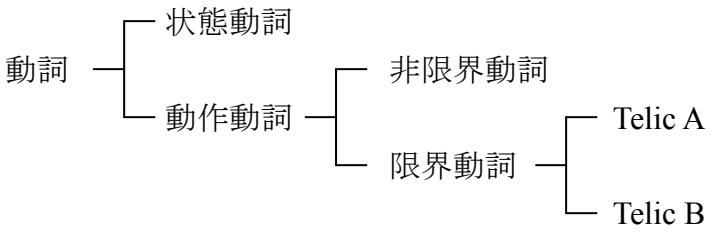
以上，「-γsaγar bayi-」は進行性，結果性，状態性といったアスペクト的意味を表すことを見た．「-γsaγar bayi-」は質的相性という点では「-ju bayi-」と全く平行的な振る舞いを見せる．だが，「-ju bayi-」は単に動作が継続していることを表すのに対して，「-γsaγar bayi-」は動作が長い間継続していることを表している．つまり，「-ju bayi-」と「-γsaγar bayi-」は量的相性の「長さの程度」において対立していると考えられる．従って，「-γsaγar bayi-」の文法的意味は「長期的継続」と記述するのが妥当であろう[19].

## 4. 結論

### 4.1. 現代モンゴル語の動詞分類

本稿では，現代モンゴル語の「副動詞 ＋bayi-」の意味を記述し，アスペクト的意味の実現に動詞の限界性が関与していることを指摘したが，議論の過程で，動詞のアスペクト的クラスの分類を試みた．

(69) 現代モンゴル語の動詞分類




現代モンゴル語の動詞は，第一に，形式的にゼロの形と「-ju bayi-」がアスペクト的に対立するかどうかによって，動作動詞と状態動詞に分類しうる．対立する動詞を動作動詞，対立しない動詞を状態動詞と呼ぶ．第二に，動作動詞は「-γad bayi-」が結果性を表すかどうかによって，限界動詞と非限界動詞に分類しうる．「-γad bayi-」が結果性を表す動詞を限界動詞，結果

---

[19]「-γsaγar bayi-」が瞬間的な動作と結合したときに非文になることや限界動詞と結合したときに多回的動作の解釈が優先するといった特徴は，日本語の「シツヅケル」の振る舞いに似ている．日本語の「シツヅケル」の意味については，金水 (2000: 74-75)，黄文溥 (2004) を参照．

性を表さない動詞を非限界動詞と呼ぶ．第三に，限界動詞は「-ju bayi-」が結果性を表すかどうかによって, Telic A と Telic B に分類しうる.「-ju bayi-」が進行性のみを表す動詞を Telic A, 結果性を表すことのできる動詞を Telic B と呼ぶ．以上，アスペクト的意味と限界性の関係を整理すると(70)のようになる．

(70)　アスペクト的意味と動詞の限界性（一回的動作／状態の場合）

<table>
<tr><td rowspan="3"></td><td>状態動詞</td><td colspan="3">動作動詞</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">非限界動詞</td><td colspan="2">限界動詞</td></tr>
<tr><td>Telic A</td><td colspan="2">Telic B</td></tr>
<tr><td>-γad bayi-</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">結果性</td></tr>
<tr><td>-ju bayi-</td><td>状態性</td><td colspan="2">進行性</td><td>結果性</td></tr>
<tr><td>-γsaγar bayi-</td><td>状態性</td><td colspan="2">進行性</td><td>結果性</td></tr>
</table>

＊網掛の部分は反復性になる

(69)で示したアスペクト的クラスの分類ごとに，本文中で例示したものを含めた動詞の一例を提示すると(71)の通りである．ただし，本文中で言及したように, 非限界動詞は動詞以外の文成分によって任意の終了限界を定めると限界動詞として用いられる．

(71) 状態動詞：bayi-（ある，いる），mede-（知る），qayirla-（愛する）etc.
非限界動詞：ajilla-（働く），güyü-（走る），iniye-（笑う），jodo-（叩く），naγad-（遊ぶ），salkila-（吹く），umda-（泳ぐ），ungsi-（読む），uuγu-（飲む）etc.
限界動詞（Telic A）: ala-（殺す），bari-（建てる），ire-（来る），kür-（着く），mörgüldü-（ぶつかる），oci-（行く），qayila-（溶ける），qurimla-（結婚する），tura-（痩せる），una-（落ちる），ükü-（死ぬ）etc.
限界動詞（Telic B）: emüs-（着る），negegegde-（開く），teberi-（抱く），saγu-（座る）etc.

### 4.2.　現代モンゴル語のアスペクト体系

現代モンゴル語には少なくとも「-ju bayi-」，「-γad bayi-」，「-γsaγar bayi-」の三種類の継続相が存在する．これらは形式的にゼロの一般相と対立して

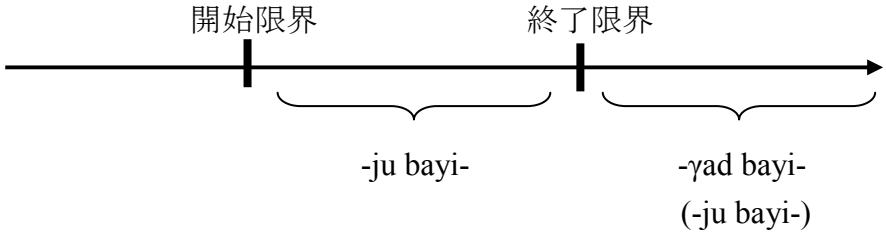
いると考えられる．

(72)　現代モンゴル語のアスペクト体系（一部）[20]

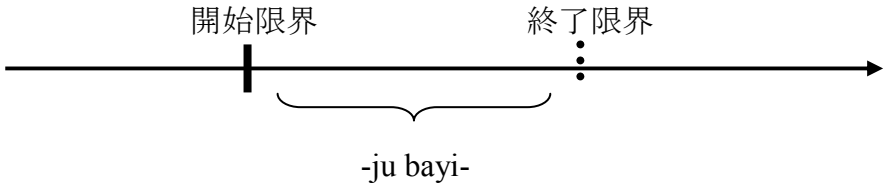
| | | アスペクト | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 一般相 | 継続相 | | |
| テンス | 非過去 | -na | -ju bayi-na | -γad bayi-na | -γsaγar bayi-na |
| | 過去 | -ba | -ju bayi-ba | -γad bayi-ba | -γsaγar bayi-ba |
| | | -jai | -ju bayi-jai | -γad bayi-jai | -γsaγar bayi-jai |
| | | -la | -ju bayi-la | -γad bayi-la | -γsaγar bayi-la |

まず，質的相性の観点から見ると，「-ju bayi-」は局面に関係なく動作の継続を表しているが，「-γad bayi-」は終了限界後の局面に特化した継続を表している．従って，現代モンゴル語は「動的継続」と「静的継続」の対立をしている可能性がある．

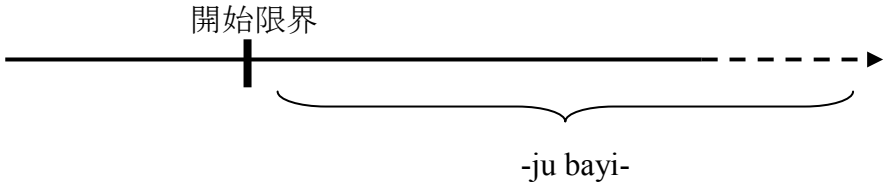
(73)




(74)




(75)




[20] 現代モンゴル語のテンス体系は，「-na」と「-ba」，「-jai」，「-la」が「非過去」対「過去」で対立していると考えられる．過去形語尾の「-ba」，「-jai」，「-la」の違いについては，橋本 (1993)，Song (1997) などを参照．

(76)

-ju bayi-

次に，量的相性の観点から見ると，「-γad bayi-」が定性／不定性，「-γsaγar bayi-」が時間の長さといった量的相性において「-ju bayi-」と対立していると考えられる．また，現代モンゴル語はさらに，本稿において言及することができなかった「形動詞 + bayi-」の中に，習慣性を表すと考えられる「-daγ bayi-」という形がある[21]．従って，現代モンゴル語のアスペクトは規則性／不規則性といった量的相性の対立をしている可能性もある．

(77)
- 定性（多回性）
- 不定性
  - 規則性（反復性） ⇒ -γad bayi- ?
  - 不規則性（習慣性）⇒ -daγ bayi- ?

以上のことから，現代モンゴル語は質的相性の対立のみならず量的相性の対立を文法的に区別するアスペクトの発達した言語であると結論付けることができるだろう．

### 4.3. 今後の課題

本稿は，単一主体の一回的動作／状態を中心に議論をしてきた．だが，Song (1997) が指摘しているように，「-ju bayi-」は複数回の動作も表すことができる．Telic B の特徴づけ，つまり「-ju bayi-」が結果性を表す条件を一般化することができなかった点と併せて，今後はさらに「-ju bayi-」の意味を記述する必要があろう．また，対立項である形式的にゼロの形は，恐らく継続に関して明言しない一般相であると考えられるが，一般相の詳細なアスペクト的意味の記述は今後の課題である．

---

(21) 「-daγ bayi-」の意味については宋在穆 (1997) を参照．

**Abbreviation**

ablative: ABL　accusative: ACC　aspectual marker: ASP　dative-locative: DAT　genetive: GEN　nominative: NOM　passive voice: PAS　reflexive: REF　temporal marker: TEN　terminative gerund: TER

**謝辞**

本稿は日本言語学会第 130 回大会（2005 年 6 月，国際基督教大学）において発表した内容に加筆, 修正を施したものである. 本稿の執筆にあたり，学会参加者の先生方，また，二名の匿名査読者の方からは大変貴重なご意見をいただきました．フィールド調査に協力してくださった増田正彦氏，阿榮氏，徐佩伶氏と併せて，感謝の意を表します.

**参考文献**

白音朝克図 (2002) 『科爾沁土語研究』, 呼和浩特: 内蒙古大学出版社

宝玉柱 (2002) 「蒙古語体範疇研究」『中国民族語言文学研究論集』第二集: 243-270, 北京: 民族出版社

Binnick, Robert I. (1979) *Modern Mongolian: A Transformational Syntax*, Toronto, Buffalo, London: University of Toronto Press.

Bosson, James E. (1964) *Modern Mongolian: A Primer and Reader*, Uralic and Altaic Series 38, Indiana University Publications.

查干哈達 (1995) 『蒙古語科爾沁土語研究』, 北京: 社会科学文献出版社

Comrie, Bernard (1976) *Aspect*, Cambridge University Press.

Comrie, Bernard (1981) Aspect and Voice: Some Reflections on Perfect and Passive, *Tense and Aspect*, Syntax and Semantics 14: 65-78, New York: Academic Press.

Dahl, Östen (1981) On the Definition of the Telic-Atelic (Bouned-Nonbounded) Distinction, *Tense and Aspect*, Syntax and Semantics 14: 79-90, New York: Academic Press.

道布 (1983) 『蒙古語簡志』, 北京: 民族出版社

Dugarova, Galina S. and Natalia S. Jaxontova (1988) Resultative and Perfect in Mongolian, *Typology of Resultative Constructions*, edited by Vladimir P. Nedjalkov, Amsterdam/Philadelphia: John Benjamins Publishing Co.

Hangin, John G. (1968) *Basic Course in Mongolian*, Uralic and Altaic Series 73, Indiana University Publications.

橋本邦彦 (1993) 「過去時の領域―モンゴル語の過去形接尾辞の意味について―」『言語研究』104: 1-20.
黄文溥 (2004) 「シツヅケルの意味分析」『世界の日本語教育』14: 149-165.
フフバートル (1993) 『モンゴル語基礎文法』, 東京: インターブックス
Garey, Howard B. (1957) Verbal Aspect in French, *Language* 33-2: 91-110, Linguistic Society of America.
菅野裕臣 (1990) 『動詞アスペクトについて(Ⅰ)』調査研究報告№29, 学習院大学東洋文化研究所
菅野裕臣 (1992)『動詞アスペクトについて(Ⅱ)』調査研究報告№35, 学習院大学東洋文化研究所
金水敏 (2000) 「時の表現」『時・否定と取り立て』日本語の文法 2, 東京: 岩波書店
工藤真由美 (1995) 『アスペクト・テンス体系とテクスト―現代日本語の時間の表現―』, 東京: ひつじ書房
栗林均 (1989) 「内蒙古語」『言語学大辞典』2: 1426-1434, 東京: 三省堂
栗林均 (1992) 「モンゴル諸語」『言語学大辞典』4: 517-526, 東京: 三省堂
Maslov, Jurij S. (1988) Resultative, perfect, and aspect, *Typology of Resultative Constructions*, edited by Vladimir P. Nedjalkov, Amsterdam/Philadelphia: John Benjamins Publishing Co.
小沢重男 (1986) 『増補 モンゴル語四週間』, 東京: 大学書林
Poppe, Nikolaus (1951) *Khalkha-Mongolische Grammatik*, Wiesbaden: Franz Steiner Verlag Gmbh.
Poppe, Nicholas (1954) *Grammar of Written Mongolian*, Wiesbaden: Otto Harrassowitz.
清格爾泰 (1991) 『蒙古語語法』, 呼和浩特: 内蒙古人民出版社
清格爾泰 (2001) 「蒙古系統の言語と蒙古語方言」『京都産業大学国際言語科学研究所所報』22: 15-23.
Sanzheyev G. D. (1973) *The Modern Mongolian Language*, Moscow: Nauka Publishing House.
塩谷茂樹・E. プレブジャブ (2001) 『初級モンゴル語』, 東京: 大学書林
Song, Jae-mog (1995) Progressives in Korean and Khalkha Mongolian, *Working Papers in Linguistics & Phonetics* 5: 251-270, School of Oriental and African Studies, University of London.
Song, Jae-mog (1997) *Tense, Aspect and Modality in Khalkha Mongolian,* Dissertation, University of London.

宋在穆 (1997) 「할하 몽골어 습관상 (Habitual) 동명사 어미 -dag 에 대한 어휘적 제약」『언어학』21: 139-155.

Street, John C. (1963) *Khalkha Structure*, Bloomington: Indiana University Publications.

須田義治 (2003) 『現代日本語のアスペクト論』, 東京: 海山文化研究所

孫竹 (1985) 『蒙古語文集』, 西寧: 青海人民出版社

Vendler, Zeno (1967) Verbs and Times, *Linguistics in Philosophy*, Ithaca, New York: Cornell University Press.

# Aspectual Meanings and Verbal Telicity in Modern Mongolian

MATSUOKA, Yuta
(Graduate School of Humanities, Kyushu University)

In this paper, I provide a systematic account of the aspectual meanings of the modern Mongolian converb+bayi- forms (*-ju bayi-*, *-γad bayi-*, and *-γsaγar bayi-*) and highlight issues in the description in previous studies. The form *-ju bayi-* has three meanings: progress, result, and state. The form *-γad bayi-* only expresses the result in the case of a single action and state. The form *-γsaγar bayi-* has the same meaning as *-ju bayi-* qualitatively, but the meaning of *-γsaγar bayi-* is different from that of *-ju bayi-* quantitatively in that the former expresses an action and state that extend over a prolonged period of time.

In this paper, I also argue that the aspectual meanings of the three forms can be predicted by the lexcial meaning of the verb that they combine with, and propose an aspectual classification for modern Mongolian verbs. Firstly, Mongolian verbs are divided into stative and actual verbs, and I call the verbs for which the form *-ju bayi-* has the same meaning as the morphologically unmarked form stative verbs. Secondly, the actual verbs are sub-divided into telic and atelic verbs, and I call the verbs for which the form *-γad bayi-* has a resultative meaning telic verbs. Conversely, verbs of the *-γad bayi-* form that do not have the resultative meaning are called atelic verbs. Thirdly, telic verbs are sub-divided into telic A and telic B, and I call the verbs for which *-ju bayi-* can express resultativeness telic A, while the verbs for which the form *-ju bayi-* cannot express resultativeness telic B.

（受理日　2007 年 2 月 28 日　　最終原稿受理日　2007 年 5 月 15 日）